

今回、この姉妹都市派遣事業では、一生に一度しかないような本当に貴重な体験をすることができました。

最初に派遣事業に参加する他のメンバーとあった説明会では全然知らない人ばかりで、仲良くなれるかやどう接すれば良いのかなど不安なことばかりでした。でも、事前研修会を通していく中で、だんだんと他の学校の人たちと話せるようになり、それまで抱えていた不安も徐々になくなっていきました。そして、無事アメリカに行くことができました。私はアメリカに行ったことがなく、とてもワクワクしながらアメリカへと向かう旅を過ごしました。飛行機がもう少しで着陸するときに窓から外を見ると、そこには広大な大地が広がっていました。それを見て「やっぱりアメリカってすごいな」と感じました。空港を出た後、バスに乗ってデンバー市へと向かいました。

デンバー市ではホームステイではなかったのですが九日間の内の二日間を過ごしました。一日目は、夜ご飯を食べたぐらいしかなかったのですが、そのご飯の量が驚くほど多く、私は食べきれたのですが他の人は食べることができないほどでした。ここで食べ物のアメリカンサイズというものを知りました。二日目は朝のホテルのバイキングから始まりました。アメリカ人に話しかけられたのですが、その人が何と言っているのかが何となく聞き取ることができてとてもうれしかったです。その後、デンバー水族館や十六番通りへ行きショッピングを楽しみました。

三日目、デンバー市を出て、ホストファミリーの方々がいるコロラド・スプリングス市へと向かいました。移動中のバスの中で次々と不安がこみあげてきました。ホストファミリーの方とうまく話せなかったら、やどんな人たちだろうなど他にも色々と不安なことがたくさんありました。でも、あってみるととても優しい人たちで、「ようこそつかささん」とわざわざ日本語で書いてくれたボードを持って私たちを迎えてくれました。その後、ファミリーごとに別れて、ホストファミリーの家について、中に入ったときに私はとても驚きました。家の中がとても広く、テレビは何台もあるし、とにかく驚きました。私が緊張していると、「大丈夫？」と声をかけてくれたり、自分が話しかけたくても緊張してかけられないとき逆にホストファミリーの方から話しかけてくれたりなど、コミュニケーションをたくさんとることができました。この三日目から、五日間のホームステイが始まりました。

四日目は全ホストファミリーと日米協会の方々とのBBQがありました。そのときに、今まで事前研修会で練習してきたソーラン節の発表と富士吉田市についての紹介をしました。今まで練習してきたものを発揮して、両方ともとても良くできて良かったです。五日目には、「ガーデン・オブ・ザ・ゴッズ」や「オリンピックトレーニングセンター」へ行きました。日本では見られない景色や施設へ訪れることができ、様々なことを知ることができました。その中でもホストファミリーとの生活で緊張もほぐれ、自分から話しかけたり、会話が続きたりしていった自分の英語が伝わるうれしさを感じると共に自分の成長を感じることができました。六日目は、ホストファミリーとゲームをして遊んだり映画を見ました。七日目では、現地のミドルスクールの見学をさせていただき、日本の学校の違いや、同じ所も発見できるなど良い経験となりました。八日目、いよいよホストファミリーとお別れです。すごく優しい方々でもう一度来たいと思ってしまいました。ホストファミリーの方も絶対富士吉田市に行くからねと言ってくれてとてもうれしく、また悲しくなりました。

この九日間は私にとって、本当に最高でした。この事業に参加し、十九人の仲間ができ、ホストファミリーとも出会えました。そして、自分を成長させることができました。この経験を生かして、これからの

学校生活や人生につなげていきたいと思っています。